

45. 宮崎県 (Miyazaki Pref.)

作成者名：岩崎郁雄¹⁾ 協力者名：なし 作成年月：2019年12月

今回 ランク	判定 方法	前回 ラン ク	種 名	現在も安定して発生している産 地 (市町村)	現在減少傾向にある 産地 (市町村)	絶滅したと考えられ る産地 (市町村)	衰退の経過	減少要因	備考 (対策・文献など)
EX	ウ	EX	スジボソヤマキチョウ	—	—	高千穂町、西米良村、宮崎市 (偶産?)	1930年代以前は、山間地に少ないながら広く分布していたと思われる。1953年を最後に確実な記録がなく、絶滅したと思われる	もともと少ない種で森林伐採など環境の変化を受けたものと思われる	—
EN	ク	EN	ヒメシロチョウ	—	高千穂町	—	近年、確認数が極めて少なく、危機的状況である。	食草のツルフジバカマの減少とニホンジカによる吸蜜植物の食害が主要因である	宮崎県種指定種。ツルフジバカマの植栽とシカ防護柵による保護を実施
EN	ク, ツ	EN	ウラゴマダラシジミ	—	椎葉村, 高千穂町, 五ヶ瀬町	—	宮崎県内では産地が極めて局所的である。現在生息していると推定される場所でも近年、情報がほとんどない	五ヶ瀬町鞍岡の産地では絶滅かと思われていたが、2009年に再発見された	本県では原野型と森林型の両型が見られる
EN	ク, ツ	EN	オナガシジミ	—	高千穂町, 五ヶ瀬町, 椎葉村	—	いずれの産地も減少しているものと思われる	食樹のオニグルミが不要材として伐採されている。また、ニホンジカの食害により稚樹が育たず、食樹群落の減少に繋がっている	オニグルミ林の保全が必要である
EN	ケ, ツ	EN	クロミドリシジミ	—	高千穂町, 五ヶ瀬町	—	1980年以前は生息域に産地が散在していたが、以後減少。2000年以降の記録は少ない	主な発生木はアベマキやクヌギの大木で、原木として適齢期に伐採されるため発生木が少なくなっている	—
EN	オ	EN	クロシジミ	—	延岡市 (旧延岡市, 旧北浦町), 日之影町, 高千穂町, えびの市ほか	宮崎市, 綾町	どの産地も極めて局所的で見られなくなった場所が多い。	生息地が草地や路傍など改変されやすい場所が多く、アブラムシの発生やクロオオアリの個体数の変化が要因と思われる	—
EN	ク, シ, ソ, ツ, ナ	EN	ゴイシツバメシジミ	—	小林市ほか	—	1990年代までは確実に生息していたが、2000年以降は全く情報がなく、絶滅した可能性もある	食草の生育する照葉樹林の伐採やダム建設による水没、本種の捕獲や食草の採取が要因と思われる	国指定天然記念物。国種指定種。食草のシンランは宮崎県種指定種
EN	オ, ツ, ヌ	EN	タイワンツバメシジミ	—	延岡市 (旧北浦町, 旧延岡市), 日向市, 宮崎市, 都城市, 日南市, 串間市ほか	延岡市 (旧北方町), 日之影町, 美郷町, 木城町, 都農町, 小林市, えびの市ほか	1990年以前は各地で少なくなかったが、1994年頃を境に特に山間部で急減し、現状では県中北部にはほとんど産地がなくなっており、県南部に残存して状況である	電動草刈り機による草刈り方法の変化や除草剤の散布、里山放棄による遷移進行による食草や越冬環境の消失が考えられる	—
EN	ク, シ	EN	ゴマシジミ	—	高千穂町	—	2000年以前は産地として比較的安定していたが、2011～2012年に個体数の減少が見られ、2013年以降急減し、絶滅寸前である	主としてニホンジカによる食草、吸蜜植物への著しい食害が要因である	宮崎県種指定種。食草の植栽や官民によるシカ防護柵設置による生態系保護を実施
EN	オ, ソ, ツ	EN	ウラギンスジヒョウモン	—	延岡市, えびの市	日之影町, 五ヶ瀬町, 門川町, 椎葉村, 高鍋町, 西米良村, 宮崎市, 小林市, 都城市, 南那珂地域ほか	1980年代以前は各地に少なくなかったが、2000年以降、延岡市とえびの市だけとなり、現状では確認出来ない状況となっている。ただし、2019年に高千穂町で1例記録された	生息できるような背丈の低い草地の減少。2010年以降は残存していた地域でもニホンジカの吸蜜植物の食害などにより一気に消滅した可能性がある	—
EN	オ, タ, テ	EN	サトウラギンヒョウモン	五ヶ瀬町, 高千穂町ほか	延岡市, 門川町, 日向市, 美郷町 (旧北郷村, 旧南郷村), 西都市, 宮崎市, 小林市, えびの市, 高原町, 都城市ほか	県南 (南那珂地域)	1980年以前は県南を除き、各地で確認されていたが、その後、平地、低山地で急減し、2000年以降、山間地でも徐々に減少。2010年頃から減少がさらに顕著となってきた	2000年以前は里山環境の消失による産卵環境の減少などであったが、2010年以降は、草地に進出したシカの吸蜜植物の食害が主原因と思われる	—

45. 宮崎県 (Miyazaki Pref.)

作成者名：岩崎郁雄¹⁾ 協力者名：なし 作成年月：2019年12月

今回 ランク	判定 方法	前回 ラン ク	種 名	現在も安定して発生している産 地 (市町村)	現在減少傾向にある 産地 (市町村)	絶滅したと考えられ る産地 (市町村)	衰退の経過	減少要因	備考 (対策・文献など)
EN	オ, ソ, ツ, ヌ	EN	オオウラギンヒョウモン		高千穂町, えびの市	延岡市, 日之影町, 門川町, 椎葉村, 高 鍋町, 西米良村, 宮 崎市, 高原町, 小林 市, 都城市, 南那珂 地域ほか	1980年以前は広く分布していたが, 以後, ほとんどの地域で消滅. 2000 年以降, 記録のあるのは, えびの市 と高千穂町 (発生未確認) のみと なった. 2010年以降多産地だったえ びの市の産地は急減し, 危機的状況 である	2000年以前は里山環境の変化による生 息環境の消失によるであったが, 僅か に残った産地も2010年以降, 草地に進 出したシカの吸蜜植物の食害が大きな 影響を与えているものと思われる	えびの市の生息地は自衛隊による演習のため 発生期の調査が出来ない状況となった
VU	カ, タ, テ	VU	スジグロチャバネセセリ		日之影町, 高千穂町, 五ヶ瀬 町	延岡市?, 椎葉村?	2000年以前は産地が少なくなかった が, それ以降は記録が減少した. 比 較的安定していた五ヶ所高原では, 2010年以降個体数が約60%減少した	五ヶ所高原では, ニホンジカによる食 草, 吸蜜植物の著しい食害により減少 したと思われる	-
VU	カ, タ, テ	VU	ヘリグロチャバネセセリ		五ヶ瀬町, 高千穂町, 日之影 町	延岡市?	2000年以前は産地が少なくなかった が, それ以降は記録が減少した. 比 較的安定していた五ヶ所高原では, 2010年以降個体数が約60%減少した	五ヶ所高原では, ニホンジカによる食 草, 吸蜜植物の著しい食害により減少 したと思われる	分布南限
VU	カ, タ, テ	VU	ルーミスジミ	綾町, 日南市 (旧北郷町)	木城町, 西米良村, 宮崎市, 高原町, 小林市, 都城市ほか	-	1930~1940年代には, それほど珍し くなかったようであるが, 戦後, 生 息域が限られるようになった	高度成長期による照葉樹林の大規模伐 採が主要因である	-
VU	カ, タ, テ	VU	ヒサマツミドリシジミ	綾町, 高原町, 都城市, 日南市 (旧北郷町)	西米良村, 木城町, 都農町, 西都市, 国富町, 宮崎市, 小 林市, えびの市ほか	-	2000年以降, 伐採地放置により, 復 活しつつある産地もあるが生息地は かなり限られている	高度成長期以降による照葉樹林の大規 模伐採が主要因である	-
VU	コ, テ	VU	ウラジロミドリシジミ	-	高千穂町	五ヶ瀬町?	高千穂町では生息地が減少してい る. 五ヶ瀬町では近年記録がない	食樹のナラガシワの伐採による生息地 の消滅	-
VU	カ, タ, テ	VU	ミヤマカラスシジミ	-	高千穂町, 日之影町, 延岡 市, 椎葉村, 西米良村, 西都 市	-	2000年以降, 確実な記録があるのは 極めて少なく, 危機的状況と思われ る	ニホンジカの食害による食樹の枯死や 稚樹が育たないためと思われる	-
VU	カ, テ	VU	シルビアシジミ	-	高鍋町, 木城町, 新富町, 宮 崎市	日向市, 都城市?, 串間市	2000年以降, 安定して発生している 場所は少なくなっている	草刈り方法の変化や草地の放置により 持続的なシバ型草地が少なくなった	-
VU	カ, タ, テ	NT	ヤマウラギンヒョウモン	-	延岡市, 日之影町, 高千穂 町, 美郷町 (旧北郷村, 旧南 郷村), 諸塚村, 椎葉村, 西 都市, 西米良村, 高原町, 小 林市 (旧須木村), えびの 市, 都城市ほか		2000年以前は, 安定した産地が多 かったようだが, 2010年以降減少し てきた	近年の減少はニホンジカによる吸蜜植 物の食害で発生時期に良く利用するノ アザミ等の消失が要因のひとつである	分布南限
VU	カ, タ, テ	VU	ミスジチョウ	高千穂町, 五ヶ瀬町, 椎葉村	延岡市, 美郷町, 都農町, 木 城町, 西都市, 国富町, 綾 町, 西米良村, 小林市 (旧小 林市, 旧須木村), えびの市	門川町	2000年以降, 安定した産地が少なく なり, 見られなくなった産地もある	樹林の伐採や食樹の生育する谷部の乾 燥化が減少要因と思われる	-
VU	ク, テ	VU	ホシミスジ	-	高千穂町, 五ヶ瀬町, 日之影 町	-	五ヶ所高原では, 少ないながら確認 されているが, それ以外の地域では 産地は少なく, 現状不明である	食樹のシモツケや吸蜜植物がニホンジ カの食害により, 個体数減少の要因と なっていると思われる	-
VU	カ, タ, テ	VU	ヒメキマダラヒカゲ	-	延岡市 (旧北川町, 旧北方 町), 日之影町, 五ヶ瀬町, 椎葉村, 西米良村	都農町, 木城町?, 西都市?	2000年以降, 生息面積が急減してい る. 都農町・木城町境の尾鈴山や西 米良村掃部岳では食草のスズタケが 消滅し, 本種は絶滅したと思われる	ニホンジカが食草スズタケを食害し, 食草の失われた場所が広大にわたり, 本種は危機的状況にある場所が増加し ているものと想定される	-

45. 宮崎県 (Miyazaki Pref.)

作成者名：岩崎郁雄¹⁾ 協力者名：なし 作成年月：2019年12月

今回 ランク	判定 方法	前回 ラン ク	種 名	現在も安定して発生している産 地 (市町村)	現在減少傾向にある 産地 (市町村)	絶滅したと考えられ る産地 (市町村)	衰退の経過	減少要因	備考 (対策・文献など)
VU	カ	VU	キバネセセリ	えびの市	延岡市 (旧北川町), 高千穂町, 日之影町, 西都市, 西米良村, 小林市	—	霧島山塊は比較的安定していると思われるが, それ以外は2000年以降の記録はほとんどない。	食樹のハリギリを含む樹林の伐採等が考えられるが, 詳細は不明	—
VU	カ, テ	VU	ギンイチモンジセセリ		日之影町, 高千穂町, 五ヶ瀬町, 川南町, 高鍋町, 西都市, 国富町, 綾町, 宮崎市, 高原町, 小林市, えびの市, 都城市, 三股町	—	比較的よく見られる大淀川流域, 霧島山周辺地域, 五ヶ所高原を除くと近年記録や産地が少なくなっている	生息出来るような適当な草丈のある荒地や公園, 吸蜜植物の減少が考えられる	—
NT	キ, チ, ト	NT	オナガアゲハ	高千穂町, 五ヶ瀬町, 日之影町, 椎葉村, 西米良村など	川南町, 高鍋町, 宮崎市, 日南市など	—	安定した産地は多いが, 都市近郊や県南部では減少している	造成や開発による主食草のコクサギの消失が一因である	—
NT	キ, チ, ト	NT	ツマグロキチョウ	—	県内各地	—	2000年以降, 広範囲に見られるが, 散発的な個体の見られることが多くなり, 食草のカワラケツメイ群落があっても大発生をあまり見なくなった	食草のカワラケツメイが持続的に生育する環境が減少している	—
NT	サ	NT	ツマベニチョウ	日南市 (旧日南市, 旧南郷町)	宮崎市, 串間市 (以上一時的発生地)	—	1993年の台風のため, 日南市では食樹が消失, 危機的状況にあった. 確実に生息している2箇所は個体数の変動が激しく, 2010年以降を平均するとやや減少傾向がある	分布限界地であることや年により寄生をかなり受けやすい	分布北限。一時期, 日南海岸各地でギョボクの植栽活動が盛んであったが, 個体数の安定化には繋がっていない
NT	キ, チ, ト	NT	ウラキンシジミ	延岡市, 高千穂町, 日之影町, 五ヶ瀬町, 椎葉村	延岡市, 都農町, 西米良村, 小林市, えびの市	—	2000年以前に消失した産地がある	食樹のある溪流や斜面の伐採によることが多い	—
NT	キ, チ, ト	NT	メスアカミドリシジミ	延岡市, 日之影町, 高千穂町, 五ヶ瀬町, 椎葉村, 都農町, 西米良村, 西都市	国富町	—	分布の周辺地域に減少傾向がある。近年の記録が少ないが, 現状はあまり変化がないものと思われる	以前の広域な樹林伐採の影響は大きいですが, 近年の状況はあまり調査されていない	—
NT	キ, チ, ト	NT	アイノミドリシジミ	延岡市, 高千穂町, 日之影町, 五ヶ瀬町, 椎葉村, 西米良村, えびの市ほか	都農町, 西都市	えびの市?	分布の周辺地域に減少傾向がある。近年の記録が少ないが, 現状はあまり変化がないものと思われ, えびの市は霧島山の1例で長らく追加記録がない	以前の広域な樹林伐採の影響は大きいですが, 近年の状況はあまり調査されていない	—
NT	キ, チ, ト	NT	キリシマミドリシジミ	県内各地	県内各地	—	残存している産地は多いが, 全体的には生息面積が狭まっている	以前の広域な樹林伐採の影響は大きいですが, 近年では現状維持のようである	—
NT	キ, チ, ト	NT	フジミドリシジミ	延岡市, 高千穂町, 日之影町, 椎葉村, 西米良村, えびの市ほか	西都市, 都農町ほか	—	周辺部での減少はあるが, 多くの産地で生息しているとみられるが, 将来減少する可能性が高い	ニホンジカの影響による乾燥化で食樹ブナ類の古死や稚樹が食害で消失するなど大きな懸念が出てきている	—
NT	キ, チ, ト	NT	オオミドリシジミ	高千穂町, 日之影町, 椎葉村	美郷町, 西米良村, 綾町	—	内陸部では安定した産地があるが, 2000年以降, 周辺部での記録が少なくなっている	森林伐採などが考えられるが, よく分かっていない	—
NT	キ, チ, ト	NT	エゾミドリシジミ	高千穂町, 五ヶ瀬町, 日之影町, 延岡市 (旧北川町・旧北方町), えびの市ほか		宮崎市 (旧田野町)?	高標高地には安定した産地が残っているが, 全体として個体数が減少している	森林伐採などによるミズナラ林の減少が考えられる	—
NT	キ, チ, ト	NT	コツバメ	高千穂町, 五ヶ瀬町, 日之影町など山間各地	門川町, 高鍋町, 新富町, 宮崎市など	—	山間部に安定した産地は残っているが, 海岸部や都市近郊など周辺部での減少や産地の消滅がある	開発による食樹の消失などが考えられるが, 原因は不明	—
NT	キ, チ, ト	NT	ゴイシジミ		県内各地	—	毎年見られる産地もあるが, 2000年以降, 産地数や個体数の減少が目立っている	近年, タケ・ササなどにつく幼虫食餌のアブラムシが減少傾向にあるのが一因と思われる	—

45. 宮崎県 (Miyazaki Pref.)

作成者名：岩崎郁雄¹⁾ 協力者名：なし 作成年月：2019年12月

今回 ランク	判定 方法	前回 ラン ク	種 名	現在も安定して発生している産 地 (市町村)	現在減少傾向にある 産地 (市町村)	絶滅したと考えられ る産地 (市町村)	衰退の経過	減少要因	備考 (対策・文献など)
NT	キ, チ, ト	NT	スギタニルリシジミ	都農町, 綾町, 小林市, 都城 市, 三股町ほか	都城市 (旧山田町) など	-	1990年以前は産地の消失があつた が, 2000年以降は産地数にあまり変 化がないと思われる	大規模伐採やダム建設などによる食樹 の消失が主要因である	-
NT	キ, チ, ト	NT	オオウラギンスジヒョウモ ン	日之影町, 高千穂町, 五ヶ瀬町 ほか	宮崎市, 小林市, 都城市ほか	宮崎市?, 南那珂地 域	どの産地でもあまり多い種ではな いが, 県南半部では産地が減少して いる。県北の高千穂町などでは, 個 体数の減少は少なく, 現状を維持し ているものと思われる	ニホンジカの吸蜜植物の食害による影 響が減少の一因と思われるが, 他種よ り広い吸蜜植物への対応力があるよ うである	-
NT	キ, チ, ト	NT	クモガタヒョウモン	-	高千穂町, 五ヶ瀬町, 日之影 町, 延岡市, 椎葉村, 西米良 村, 小林市, えびの市, 都城 市ほか	南那珂地域	比較的多産する産地もあるが, 近 年, 全体的に個体数がやや減少して いる	改変によるウツギなどの成虫発生当初 の吸蜜植物の消失などが一因と考えら れる	-
NT	キ, チ, ト	NT	シータテハ	高千穂町, 五ヶ瀬町, 日之影 町, 椎葉村, 西米良村, 小林 市, えびの市, 都城市ほか	延岡市, 宮崎市, 日南市, 串 間市	-	特に分布周辺部や低標高地では徐々 に減少している	河川沿いの樹林伐採による古いハルニ レ林の消失が一因であるが, 年月が経 過したところで新たに産地が増え たり, 復活しているところもある	-
NT	キ, チ, ト	NT	ヒオドシチョウ	-	県内各地	-	近年, 幼虫の大集団を見ることが少 なくなり, 2010年以降定点調査でも 成虫は1/2以下となっており, 全 体的に個体数が減少している	不明	-
NT	キ, チ, ト	NT	コムラサキ	-	県内各地	-	2000年以降, 急減したが, 現在は復 活しているが1990年以前の状態よ りはかに少ない状況である	伐採, 開発, 不要材としての食樹であ るヤナギ類や樹液の減少が考えられる	-
NT	キ, チ, ト	NT	オオムラサキ	日之影町, 高千穂町, 五ヶ瀬 町, 椎葉村ほか	延岡市, 美郷町, 日向市 (旧 東郷町), 西米良村, 小林 市, えびの市ほか	-	越冬幼虫では年変動がかなりあるよ うだが, 全体的に成虫は減少傾向に ある	食樹の伐採や河川改修, 災害による生 息地の乾燥化が要因と思われる	-
NT	キ, チ, ト	NT	ウラナミジャノメ	-	県内各地	-	産地はかなり残っているが, 個体数 が減少している場所が多い	やや古い草地や林縁周辺に生息してい るため小さな改変でも減少・消失に繋 がるようである	-
NT	キ, チ, ト	NT	ジャノメチョウ	日之影町, 高千穂町, 五ヶ瀬 町, 椎葉村, えびの市ほか	延岡市, 綾町, 三股町	宮崎市 (旧田野 町)?	多数発生する産地は多かったが, 2010年以降, いずれの産地でも個 体数の減少が見られるようになった	ニホンジカによる成虫の吸蜜植物の食 害が個体数に大きな影響を与えてい ると思われるが, 木本の花も利用する ため残っている産地も多い	-
NT	キ, チ, ト	NT	キマダラモドキ	-	高千穂町, 五ヶ瀬町	延岡市 (旧北方 町)?	高千穂町五ヶ所高原では2011年に多 数発生したが, 平年は確認出来る程 度となっている。その他の地域では 近年記録はほとんどない	不明	-
NT	キ	-	ダイミョウセセリ	高千穂町など県北地域	宮崎市, 日南市, 串間市など	-	少なくとも2010年以降, 県南部で確 認出来ない地域がほとんどとなって いる	環境の変化および食草の減少は全くな いため, そのほかの要因が考えられる	-
NT	キ, チ, ト	NT	ミヤマセセリ	高千穂町, 五ヶ瀬町, 椎葉村な ど	宮崎市, 延岡市など	-	安定した産地は多いが, 都市近郊で は減少している	生息地のコナラ・クスギ林の開発によ る消失等	-
NT	キ, チ, ト	NT	ミヤマチャバネセセリ	椎葉村, 五ヶ瀬町, 高千穂町, 西米良村など	延岡市, 川南町, 高鍋町, 宮 崎市など	-	平野部や丘陵地ではもともと少ない 種であるが, 2000年以降山間地で やや減少。安定した生息地の高千穂 町五ヶ所高原では, 2010年以降約30% 減少した	減少地域は, ニホンジカの吸蜜植物の 食害による影響が一因と思われる	-

1) 〒880-0925 宮崎県宮崎市本郷北方4353-31